

★ 提案20の賛成意見 ★

「彼は私をナイフで切りつけ、殺そうとしました。」と、社会病質者であるDirty Johnのナイフ攻撃を切り抜けたTerra Newellは述べています。「残忍で恐ろしいものでしたが、California州では彼の攻撃は暴力犯罪にあたりませんでした。」

California州法では、命を奪う武器を使用した暴行は、デート強姦、売春目的での子供の人身売買、その他19の明確な暴力犯罪と同様に、「非暴力的」攻撃として分類されています。California州法では、これらはすべて「非暴力的」とされています。

提案20はこれを是正するものです。

Californiaでの「非暴力的」犯罪には、家庭内暴力、爆弾による爆破、人の殺傷を意図した住宅への銃撃、意識のない人に対する強姦、子供が昏睡状態や死に至るまで残虐に殴打することなどが含まれています。

売春のための人身売買では通常、売春目的で売買を行う前にその被害者を殴打し、強姦し、麻薬漬けにします。だがCaliforniaでは、人身売買は「非暴力的」犯罪です。憎悪犯罪でさえも「非暴力的」と見なされます。

結果として、性犯罪者や小児性犯罪者を含むこれら22の暴力犯罪で有罪となった数千人もの犯罪者が、刑期を全期間全うすることなく、そしてその被害者が警告されることなく、早期に刑務所を釈放される資格を認められることとなります。

提案20は、法の下でこれらの22の暴力犯罪を「暴力的」とすることで、暴力犯罪者および性犯罪者の早期釈放を妨げるものです。また加害者の釈放時に、その被害者に通知することを義務付けています。

提案20の「全刑期」規定は、公共の安全にリスクをもたらす暴力的な入所者のみに適用されます。麻薬犯罪者や軽犯罪者には適用されず、刑務所の収監者数を増やすことにはなりません。

「提案20が新たな入所者を数千人も刑務所に送り込むという主張は、誤りです。」と Association of Deputy District Attorneys代表のMichele Haniseeは述べています。「この提案によって刑務所へ送られる新しい入所者は一人もいません。これは単に、暴力犯罪者と性犯罪者に彼らの刑期を全うするよう求めるものです。」

提案20は被害者を守り、犯罪者にカウンセリング、アンガーマネジメント、その他更生プログラムへの長期間のアクセスを提供します。

「提案20は子供を身体的虐待や性的搾取から守るものです。」Klaas Kids Foundation創始者であるMarc Klaasは述べています。「子供の人身売買は最終的に暴力犯罪として認められるでしょう。」

提案20は、窃盗や麻薬犯罪で有罪となった人からのDNA収集を認めることで、暴力犯罪に対する追加の保護を提供します。これは、複数の研究で、強姦、強盗、殺人のようなより重大な暴力犯罪の解決に役立ることが判明しています。

California州は2014年に窃盗に対する罰則を軽くしました。それ以降、主な種類の窃盗が25%増加し、食料雑貨店、小規模事業主、小売店、住宅所有者、消費者に数十億ドルの負担が生まれています。万引きは、めったに報告されなくなるほど一般的なものになっています。

提案20は、常習犯による連続的な窃盗に対する制裁を強化するもので、車上荒らし、万引き、住宅への侵入強盗、その他主な種類の窃盗の防止に役立ちます。

California州の薬物中毒危機がこの盗難の大部分に拍車をかけています。窃盗に対する制裁を強化することで、提案20は公道から麻薬中毒者（California州のホームレス人口の75%を占める）を捕え、彼らが切実に必要としている薬物乱用とメンタルヘルスに関するプログラムに参加させるのに役立ちます。

提案20に「賛成」を投じることは憎悪や暴力への反対を投じることです。

子供、犯罪被害者、犯罪被害サバイバーのための投票です。平等な正義とより安全なCaliforniaのための投票です。

PATRICIA WENSKUNAS、創設者
Crime Survivors, Inc.

NINA SALARNO BESSELMAN、代表
Crime Victims United of California

CHRISTINE WARD、所長
Crime Victims Alliance

★ 提案20の賛成意見に対する反論 ★

提案20への反対意見—これは刑務所への金の無駄遣いにすぎない

私たちは暴力犯罪の検察官であり、サバイバーです。提案20の支持者は間違っています。真実は次の通りです：

暴力犯罪に対する刑罰を定める法律は明確で強力

暴力犯罪を犯した人は、終身刑といった重く長い刑罰を受けます。これは提案20が示すものではありません。

提案20は納税者の税金数千万ドルを刑務所で浪費する無党派の立法アナリストは、提案20が以下に対して極めて厳しい削減を強制することから毎年「数千万ドル」の費用が掛かると述べています：

- 収監者を釈放するための刑務所での更生
- 再犯の確立を減らすことが立証されたメンタルヘルスプログラム
- 学校、住宅、ホームレス
- 被害者支援

提案20は行き過ぎ

提案20は、バイクの窃盗などの軽罪も重罪として起訴される可能性があることを意味します。これは他の州から大きく外

れており、より多くの十代の若者や黒人、ラテン系、低所得者の人々があまり重大ではない非暴力犯罪で数年間投獄される可能性があります。

提案20は私たちを後戻りさせる

California住民は、刑務所への無駄な浪費の削減について圧倒的多数で可決しています。提案20はこの歩みに逆行するものです。刑務所からの釈放前に人々を更生させることが、公共の安全を高める最も効果的な方法です。提案20は他の役立つ資金を削減し、より多くの費用を刑務所にかかけます。私たちはこれを必要としていません。

法執行機関のリーダー、予算の専門家、司法制度の改定者、検察官、犯罪被害者はみな、この刑務所に費用を注ぎ込む詐欺的提案に反対しています。

NoProp20.Vote

DIANA BECTON、地方検事長
Contra Costa郡

RENEE WILLIAMS、事務局長
National Center for Victims of Crime

TINISCH HOLLINS、California州所長
Crime Survivors for Safety and Justice

★ 提案20の反対意見 ★

刑務所への無駄遣いを止めましょう。提案20に反対を！
California州にはすでに、重大な暴力犯罪に対する長期刑と厳しい処罰があります。提案20の支持者はあなたを怖がらせて、以前に可決した効果的な司法制度改革を後退させ、納税者の数千万ドルを刑務所に費やそうとしています。

判断を誤らないようご注意ください。毎年、数千人が重罪で有罪となり長い刑期を言い渡されています。問題は判決にあるのではなく、刑務所内で人々が釈放に向けて準備をする際に何が起きているかです。提案20では、再犯を低減することが立証済みの対策である、メンタルヘルス治療と更生プログラムが削除される可能性があります。これは私たち全員の安全を低下させます。

犯罪被害者や法執行機関のリーダーに加え、予算の専門家、更生の専門家も提案20に反対しています。この提案が更生プログラムや犯罪被害者への支援を削減し、刑務所に数千万も費やすためです。提案20は私たちを後退させる刑務所での浪費詐欺です。

提案20は、あなたのお金を刑務所に無駄につき込む。

提案20は納税者の税金、つまりあなたのお金である数千万ドルを刑務所に浪費するものです。California州は学校、ヘルスケア、その他重要なサービスへの莫大な経費削減に直面しています。今、刑務所へ数千万ドルを費やすのは無駄な詐欺行為です。

提案20はホームレス、学校、メンタルヘルス、住宅の問題を無視している。

私たちは犯罪に対処するために、常により多くを行う必要がありますが、提案20は状況をより悪化させます。提案20は、学校、ホームレス、メンタルヘルス治療、手ごろな価格の住宅提供などの問題に使うべき納税者の数千万ドルを刑務所で浪費します。

提案20は行き過ぎ。

提案20は、\$250以上の窃盗を重罪として起訴する可能性があることを意味します。これは他の州から大きく外れており、より多くの十代の若者や黒人、ラテン系、低所得者の人々があまり重大ではない非暴力犯罪で数年間投獄される可能性があります。

提案20は更生プログラムを削減し、私たちの安全を損ねる。更生プログラムは再犯を低減するための立証された戦術です。これによって人々は法を守り、生産的で、税金を正しく支払う市民となります。提案20では、更生プログラムが削減される可能性があります。これは、釈放の時点で社会に再参加する準備ができている人が減ることを意味し、公共の安全を脅かすこととなります。

提案20は必要な犯罪被害者支援を削減する。

提案20は刑務所に費用を使い過ぎる一方で、犯罪被害者のトラウマからの回復に役立てるために利用できる財務支援を削減します。

提案20は私たちを後戻りさせる。

California州は無駄な刑務所経費を削減する適度な改正案を注意深く施行し、前進してきました。また、更生プログラムや犯罪の削減と抑止への費用対効果が証明されたその他の方法を増やしています。人々は、貧しい人々や様々な肌の色の人々を不釣り合いなほどに傷つける不公平なポリシーを改正するための、より多くの変化を求めています。提案20は私たちの前進を無駄にし、失敗した、無駄で不公平な過去のポリシーに向かって後退させます。

犯罪、予算、司法制度の専門家も同意。

提案20は、私たちのコミュニティをより安全にするものではありません。提案20はあなたの納税した数千万ドルを刑務所に無駄に費やし、人々が必要とする重要なサービスを削減しようとしています。

刑務所への無駄遣いを止めましょう。提案20に反対票を投じましょう！

NoProp20.vote

#StopthePrisonSpendingScam

TINISCH HOLLINS、California州所長

Crime Survivors for Safety and Justice

WILLIAM LANDSDOWNE、警察長（退任済み）

San Diego市

MICHAEL COHEN、財務部長（退任済み）

California州

★ 提案20の反対意見に対する反論 ★

反対者は提案20が実際に何をするのかを無視しています。これは小児性犯罪、性犯罪、その他暴力犯罪で有罪となった入所者を早期に刑務所から釈放するのを防止するものです。

現行法の下では、これらの入所者はその暴力犯罪が「非暴力的」として分類されていることから、早期釈放の資格が与えられます。

提案20はデート強姦、子供の人身売買、夫婦間暴力、命に危険を与える武器を使用した暴行などの犯罪を法の下で「暴力的」と分類し、この抜け穴をふさぎます。

「提案20は、新たに人を刑務所に送り込むものではありません。」Criminal Justice Legal Foundation代表のMichael Rushfordは述べています。「資金を新たな囚人に割り当てるものでも、メンタルヘルスや更生のプログラムから資金を削減するものでもありません。これらの主張は誤りです。」

反対者は提案20が小さな窃盗を「重罪」にし、その犯人は「何年も州刑務所に収監される場合がある」と主張します。

両方とも事実ではありません。

この取り組みを自分の目でご確認ください。提案20は、繰り返し物を盗む習慣的な窃盗犯を明確に対象としています。そして、有罪となった犯罪者の州刑務所への送致を明確に

禁止しています。代わりに、彼らは地域の拘置所または更生プログラムに送られます。

暴力犯罪者と習慣的犯罪者のみを標的にすることで、提案20は、暴力犯罪から偏って被害を受けていることが研究により判明している様々な肌の色の人々を含む、California州全住民を守ります。

私たちはみな、司法制度の改正を望んでいます。しかし、暴力犯罪者を早期に刑務所から保釈することは改正ではありません。これは公共の安全を脅かすものです。

提案20は被害者を守り、公平な司法を確保する本当の改正です。

提案20に賛成を。

FRANK LEE、代表

Organization for Justice and Equality

ERIC R. NUÑEZ、代表

California Police Chiefs Association

PATRICIA WENSKUNAS、創設者

Crime Survivors Inc.